

答 申

令 和 2 年 3 月 2 3 日

千葉県ナイトタイムエコノミー推進審議会

今、我が国は、人口減少や少子超高齢化の進展など、社会構造の大きな転換期に直面しております。

そのような中、「ナイトタイムエコノミー」については、今年行われる東京2020オリンピック・パラリンピックの開催も踏まえ、外国人観光客増加を契機とした、「新たな観光コンテンツ」としての「健全な夜間市場」創出の動きや、先進自治体における様々な取組みが始まっているところであると認識しており、千葉市において、民間事業者が主体となった、新たなナイトコンテンツの創出を行う動きについては、高く評価するものです。

当審議会においては、平成31年4月19日に開催した、第1回審議会にて、支援制度に係る募集要項や審査要領等、募集内容や審査基準について審議をいたしました。

審議内容を反映した募集要領等に基づき、令和元年5月15日から6月28日までの公募を行い、応募のあった6案件につきまして、市からの諮問に基づき、令和元年7月19日に第2回審議会を開催し、書面審査のほか、事業者からのプレゼンテーション及び質疑応答を行い、慎重に審査を行った結果、全件支援するべきであると判断しました。

平成31年度千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援事業の一つとして、令和元年8月31日に開催された、昭和の森大花火大会2019の実績報告につきまして、市からの諮問に基づき、令和元年11月5日に実績報告を検討した結果、拡充部分である竹灯籠を使った演出を実施するなど、概ね計画通り実施されたものと認められ、報告された精算額を補助金の確定額とすることが妥当であるものと判断しました。

次に、平成31年度千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援事業の一つとして、令和元年10月5日に開催された、千葉みなとイベント「アロハ ホノちば」の実績報告につきまして、市からの諮問に基づき、令和元年11月15日に実績報告を検討した結果、事業収入（出店料）と参加者数が計対比で未達となりましたが、一定の集客があり、参加者や来場者からのロケーションに対する評判が良かったことなどから、今回の支援により新たな夜間のにぎわいの創出や魅力的な景観演出ができたものと認められ、報告された精算額を補助金の確定額とすることが妥当であるものと判断しました。

次に、平成31年度千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援事業の一つとして、令和元年11月31日及び12月1日に開催された、ちば富士見屋台横丁の実績報告につきまして、市からの諮問に基づき、令和2年1月10日に実績報告を検討した結果、残念ながら8千人の来店者計画に対して、実績は5千人程となりましたが、前回開催時と比較すると2倍の人数になり、千葉駅から屋台横丁、屋台横丁から千葉のまちに人の流れが出来たものと認められること、また、屋台と提灯の灯りが合わさることで、千葉市中央公園周辺が、通常の夜間とは異なる空間に演出されていたものと認

められることから、報告された精算額を補助金の確定額とすることが妥当であるものと判断しました。

今回、平成31年度千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援事業の一つとして、令和元年10月18日、25日、31日、11月2日、令和2年2月8日の計5回開催された、タワパ ～Chiba Porttower Music Party～の実績報告につきまして、市からの諮問に基づき、令和2年3月6日に実績の書面確認及び市を通じた事業者のヒアリングを行いました。

実績報告を検討した結果、概ね、変更承認申請時の計画通り実施されたものと認められます。

大きな変更点としては、計6回の開催を予定していましたが、10月11日と12月31日の2回は台風や強風により中止となり、代替として、令和2年2月8日に追加開催し、計5回の実施となりました。

また、残念ながら、計画していた来場者数及び事業収入（参加費・飲食費）が大きく未達となりました。

その要因としては、新規イベントということもありますが、立地的に台風や強風の影響を受けやすく、10月11日と12月31日は、千葉ポートタワー自体が臨時休館となり、それに伴い、タワパ ～Chiba Porttower Music Party～も中止になったことが大きく、2月8日の追加開催時は、新型コロナウイルスの影響で、前売券購入者のキャンセルが相次いだことなどがあります。

また、想定より集客に苦戦し、無料招待券の配布や参加費の割引を行ったため、1人あたりの飲食費は計画対比で若干のプラスであったものの、参加費が減少したため、1人あたりのトータル単価（参加費+飲食費）は、残念ながら計画対比で未達となりました。

しかし、普段の夜は活用されていない地上125mの千葉ポートタワー展望階からのパノラマ夜景とレーザーライトやミラーボールの光を合わせることで、魅力的で特別な空間を演出したものと認められます。公共施設の夜間活用につながる取組みは非常に有意義であると考えております。

それによって、新たな夜間の賑わいの創出をはかる事ができ、5日間合計389人の来場者がありました。来場者に対して、中心市街地のクラブハウスで行われるアフターパーティーを紹介し、来店した方には割引を実施するなど、近隣店舗との連携もあったものと認められます。

音楽やダンス、パーティーなどに興味・関心がある新たな客層をメインとした一定の集客があり、回を重ねるとリピーターと見受けられる来場者もいました。

なお、来場者を想定より長く滞在させることができたため、1人あたりの飲食費が計画対比で計画を若干上回った点も評価しております。

また、近隣事業者との連携や事業者自身の努力により、印刷宣伝費や工事請負費等の削減を行い、事業費を圧縮することができた点は評価しております。

それにより、交付決定金額3,052千円に対して、補助金精算額の上限は2,815千円（補助対象経費5,632千円の1/2以内）となりました。

自然災害の影響が大きいため、次年度以降は、開催時期を勘案した実施や通期で実施することで、リスクを分散し、集客や事業収入の安定化を図る計画をしています。定期開催し、様々な企画を行うことで認知度の向上を図り、千葉ポートタワーでしか体験できない特別なイベントとして確立させる意思もあります。

また、チケット販売の販路拡大を行うとともに、音楽やダンス、パーティーなどに興味・関心がある方への効果的なプロモーションを行うことで、事業収入（参加費・飲食費）を増加させるとともに、支出の削減を行い、さらに新たに事業外収入（協賛金等）も得て、補助金がなくても事業を継続して自走させる計画をしています。

そして、今回の支援により、機材投資を行う事ができたので、次年度以降、ハード面の投資が大幅に削減されるとともに、プロモーション費もある程度削減できるため、1回あたりの採算確保ラインが、今年度は100人の来場者数が必要でしたが、来年度は80人へと下がる見込みです。今年度、1回あたりの平均来場者数が約80人でしたので、今年度同様の来場者数があれば、継続して自走できるものと認められます。

しかし、継続して自走することだけではなく、夜間におけるにぎわいの創出も本支援制度の目的のため、プロモーション費に関しましては削減せず、今年度以上の更なる集客を追求していただきたいと考えております。

従って、次年度以降、開催時期を勘案した実施を計画すること及びチケット販売などの販路拡大や、音楽やダンス、パーティーなどに興味・関心がある方への効果的なプロモーションを行うことにより、集客や事業収入（参加費・飲食費）を増加させるとともに、プロモーション費以外の支出の削減を行い、さらに新たに事業外収入（協賛金等）も得て、補助金がなくても事業を継続して自走させること、また今年度以上の更なる集客を追求することを条件に、補助金精算額の上限である2,815千円を減額せず支払うべきであるものと判断しております。

なお、実績報告における補助金精算額は、補助金交付決定額以内であり、収支決算に不備もないことから、報告された精算額を補助金の確定額とすることが妥当であるものと判断しております。

また、実績報告の検討及びヒアリングの際に出されました、委員からの意見や要望について、事業者がそのような意見や要望等を活かし、次年度により良いナイトコン

テントを実施することにより、地域経済活性化や千葉市における夜の都市景観造りに資するものとなることを希望します。

別表 タワパ ～Chiba Porttower Music Party～の計画と実績について

		計画		実績			
1	ターゲット	市内宿泊の外国人観光客及び市内外の20代から50代		計画通り実施			
2	運営体制	【主催】株式会社塚原緑地研究所（千葉ポートタワー指定管理者） 施設の管理運営・飲食物の提供・広報 【共催】Living Life Project DJ Foomin イベント出演者調整・イベントの進行・広報		計画通り実施			
3	事業内容	【日時】10月11日（金）、18日（金）、25日（金）、31日（木）、11月2日（土）19:30～22:30（OPEN19:15） 12月31日（火）22:30～25:00	【日時】10月18日（金）、25日（金）、31日（木）、11月2日（土）、令和2年2月8日（土）の計5回実施。 ※計6回の開催を予定していたが、10月11日（金）、12月31日（火）は、台風や強風により中止。 代替として、令和2年2月8日（土）の開催を追加。		計画通り実施		
		【場所】千葉ポートタワー展望フロア （参考） https://chiba-porttower.com/access/ 【メインコンテンツ】展望フロアでのディスコ ・千葉ポートタワーでDJによるダンスパーティー「タワパ ～Chiba Porttower Music Party～」を開催し、飲食物を提供する。 ・展望フロアの各階にDJブース、ダンスフロア、バーカウンターを設置し、地上125mから千葉港の夜景を見ながら、DISCOを体験できる。 ・近隣飲食店と相互割引、タイアップ等を行う。 ・近隣の宿泊施設への情報提供を行い、宿泊者のナイトライフの場を提供する。	概ね計画通り実施 ・近隣飲食店、施設、ホテル等とプロモーションで連携した。 ・10月と11月のタワパ終了後、千葉市内のクラブハウス「LOOM」にて、アフターパーティーを開催。タワパのお客様に「LOOM」で行うアフターパーティーを紹介し、来店した方には割引を実施。		計画通り実施		
4	収支	収入	事業収入 3,000千円	事業費における割合 49%	1,150千円	事業費における割合 19%	
		事業外収入	0千円	事業費における割合 0%	0千円	事業費における割合 0%	
		支出	ソフト事業	補助金額 1,752千円	補助対象経費 3,505千円	補助金額 1,644千円（千円未満切捨）	補助対象経費3,288千円（千円未満切捨）
			ハード事業	補助金額 1,300千円	補助対象経費 2,600千円	補助金額 1,171千円（千円未満切捨）	補助対象経費2,343千円（千円未満切捨）
		対象外経費			0千円	518千円	
合計	補助合計金額 3,052千円	事業費合計 6,105千円	補助合計金額2,815千円（千円未満切捨）	事業費合計 6,151千円			
5	来場者数	（最大）定員250人/日×6日=1,500人 （予測）125人/日×6日=750人		389人（5日間合計）			
6	経済効果及び事業効果	・近隣の飲食店と相互割引等タイアップ等を行い、千葉みなとエリアの周遊性を高める。 ・近隣の宿泊施設への情報提供を行い、宿泊者のナイトライフの場を提供し、千葉市に訪れた観光客の満足度を高める。 ・近隣飲食店・商業施設等の利用促進（売上増加） ・千葉ポートタワー利用者増加（料金収入増加） ・交通機関の利用増加（売上増加）		・普段の夜は活用されていない地上125mの千葉ポートタワー展望階からのパノラマ夜景とレーザーライトやミラーボールの光を合わせることで、魅力的で特別な空間を演出し、新たな夜間の賑わいの創出をはかる事ができ、5日間合計389人の来場者があった。 ・音楽やダンス、パーティーなどに興味・関心がある新たな客層をメインとした一定の集客があり、回を重ねるとリピーターと見受けられるお客様もいた。 ・来場者を予定より長く滞在させることができたため、1人あたり飲食費は計画対比で若干のプラスだった。			
7	景観演出方法	・地上125mの展望階からのパノラマ夜景に加えて、レーザーライト、ミラーボールを設置して、魅力的な空間を演出する。		計画通り実施			
8	スケジュール	8月20日 広報開始 9月3日～ 音響、照明設備設置工事 9月初旬 チケット販売開始 10月11日（金）、18日（金）、25日（金）、31日（木）、11月2日（土） 12月31日（火）開催		令和元年10月18日（金）、25日（金）、31日（木）、11月2日（土）、令和2年2月8日（土）の計5回実施。 ※計6回の開催を予定していたが、10月11日（金）、12月31日（火）は、台風や強風により中止。 代替として、令和2年2月8日（土）の開催を追加。			
9	次年度以降	・今年度事業で獲得するノウハウを基にして、オリンピック期間中の外国人観光客による夜間の消費活動につなげる。 ・今年度事業によって需要が見込めれば、次年度以降も定期開催の予定。		・毎月、定期開催し、様々な企画を行うことで認知度の向上を図るとともに、千葉ポートタワーでしか体験できない特別なイベントを確立させる。 ・今回獲得したノウハウをもとに、チケット販売の販路拡大を行うとともに、音楽やダンス、パーティーなどに興味・関心がある方への効果的なプロモーションとして、ツイッターでリツイートキャンペーンの実施とユーザー広告を取り入れる。具体的には、タワパのツイートをリツイートした方には、参加費割引やノベルティのプレゼント、ドリンク割引などを検討する。 ・今年行われるオリンピック期間中の外国人観光客による夜間消費につなげる。 ・事業収入（参加費・飲食費）を増加させるとともに、支出の削減を行い、さらに新たに事業外収入（協賛金等）も得て、補助金がなくても事業を自走できるようにする。 ・事業収入増加の対策として、飲食での客単価増加をはかるため、メニューの充実を行う。具体的には、料理の見直しやインスタ映えるオリジナルカクテルの開発を検討する。 ・集客を増やすことで、無料招待券の配布や参加費の割引を減らし、計画しているトータル単価（参加費+飲食費）を維持する。 ・運営人員の一部をボランティアスタッフに変更するなどの削減を行うとともに、ポスターとフライヤーを毎年使えるものを作成することで、デザイン費と印刷費の削減を行う。 ・今年度は100人の来場者数が、採算確保のラインであったが、次年度はハード面の投資が大幅に削減されるとともに、プロモーション費も削減できるため、1回あたりの来場者数が80人あれば採算確保できる見込み。 ・今年度の1回あたりの平均来場者数が約80人なので、今年度同様の来場者数があれば継続して自走できる見込み。			
10	プロモーション	・千葉ポートタワー公式HPやSNSを活用 ・市内の公共施設、商業施設、宿泊施設、飲食施設等での広報 ・メディアへのプレスリリース ・JR千葉みなと駅、JR千葉駅、JR海浜幕張駅等での電車内、駅広告 ・千葉都市モノレールでの宣伝 ・市の広報媒体の活用（市政だより、HP、SNS等）		計画通り実施			